



■睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群とは、文字通り睡眠中に呼吸が止まり、それによって日常生活に様々な障害を引き起こす疾患です。

健康人の気道



睡眠中は重力により、軟口蓋、舌根、咽頭蓋が下がり、気道は狭くなります。

睡眠時無呼吸症候群の気道



鼻や喉に何らかの異常があると慢性的に気道が狭くなり、時には気道が塞がり呼吸ができなくなります。

検査の流れ

閉塞型SASがもたらすリスク

急性期のリスク

- 起床時の頭痛
- 頭重・倦怠感
- 集中力・記憶力の低下
- 日中の眠気
- 交通事故
- 生産性の低下
- 作業ミスによる労働災害



慢性期のリスク

- 高血圧
- 糖尿病
- 心不全
- 心血管障害
- 夜間突然死
- 脳梗塞
- 認知障害
- 発育障害

